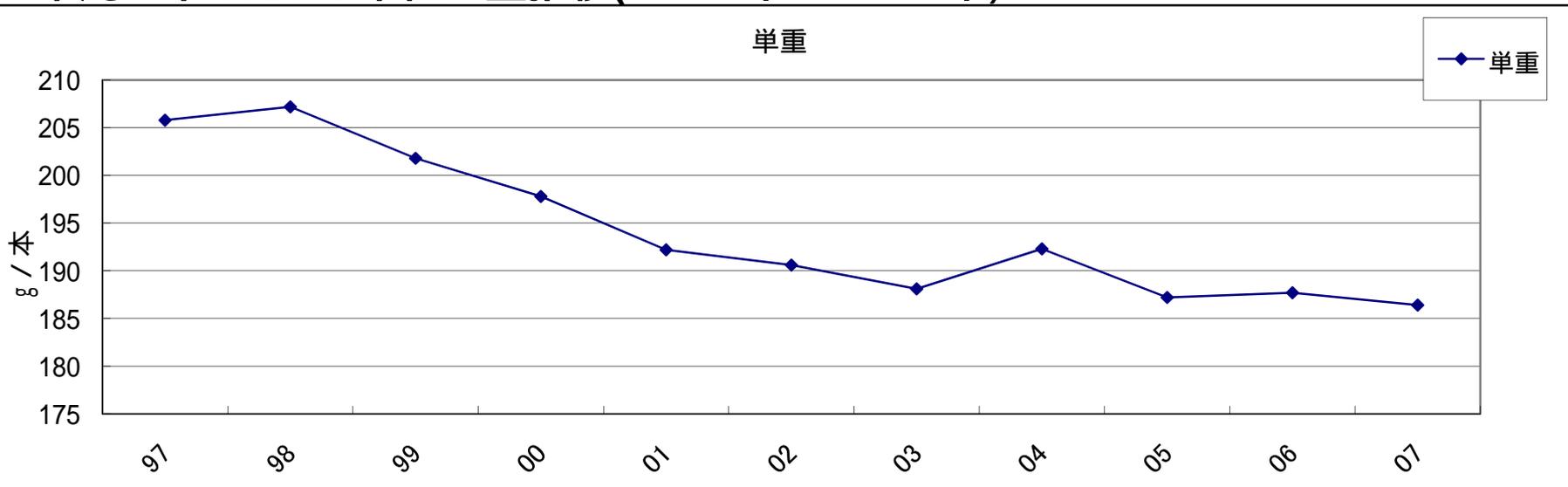


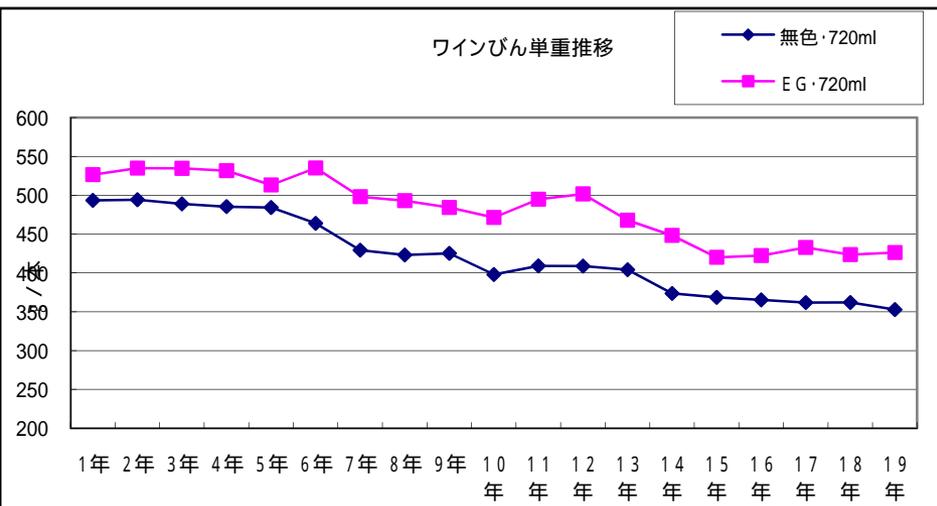
リデュース

軽量化・薄肉化事例：ガラスびん

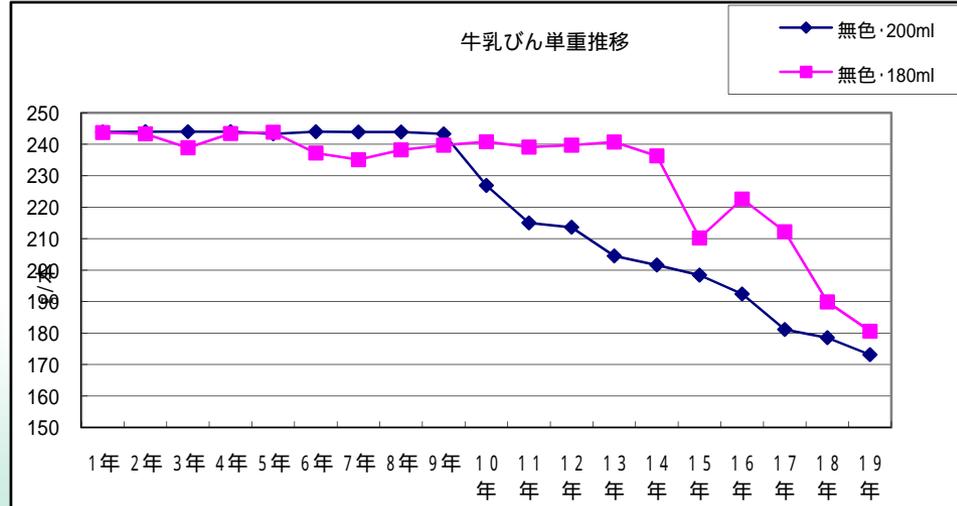
単純一本あたりの単位重量推移(1997年～2007年)



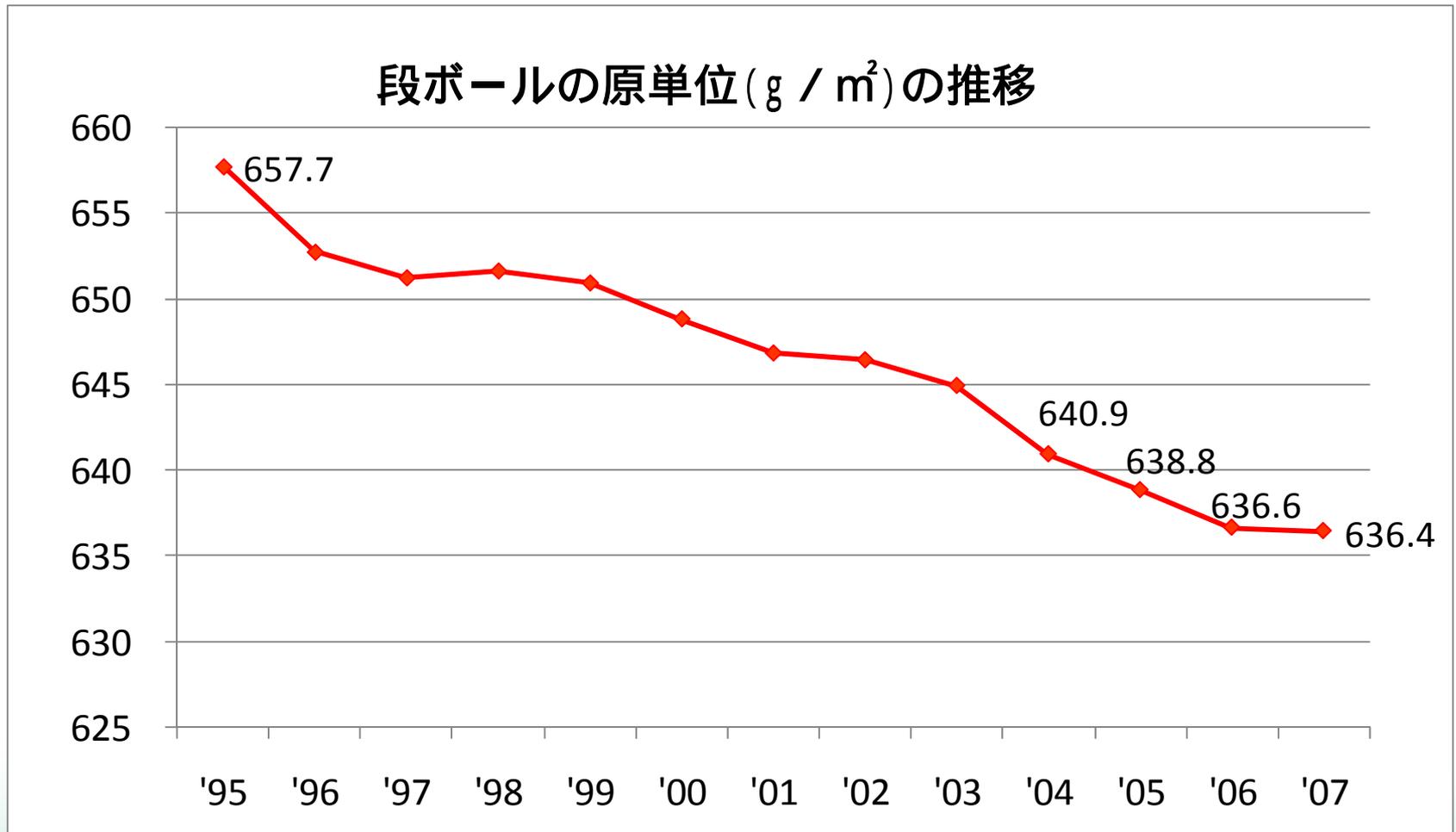
ワインびん720ml



牛乳びん200ml・180ml



主に使用原紙の薄物化による原単位の削減



リデュース 適正包装の推進 / 詰め替え容器の開発等

適正包装の推進 / 詰め替え容器の開発等

- リデュースのための包装の適正化、詰め替え容器の開発等が各企業により進められています。

プラスチック製容器包装

- ボトルキャップ、ラベル、ヨーグルトカップ等の軽量化
- 洗剤容器のコンパクト化
- 菓子類のフィルムの薄肉化 等々

紙製容器包装リサイクル推進協議会

取組みに熱心な企業の成果をまとめた「**3R改善事例集**」を制作し、活用することで業界全体のレベルアップを目指しています。

事業者による3R推進の2007年度実績 『リユース』

Reuse
リユース

●リターナブルシステムの調査・研究

ガラスびん

- 経済産業省リユースモデル事業として「**大手量販店におけるリターナブルびん商品の販売促進システムの構築**」を実施
- 「**リターナブルびんポータルサイト**」の構築と普及啓発の取り組み。
企業・リターナブルびん商品検索サイト、市場別解説、モデル事業総覧、消費者団体やNPOの様々な取組み等々、リターナブルびんの情報を満載。
- 日本酒中央会では**300mlを始めとしたRマークびんの回収システムの構築**に向けた研究会が始動。

PETボトル

- リターナブルPETボトルの調査・研究を継続
- 環境省のリユース研究会に参加、安全性が確保できない現状ではリターナブルPETボトルの導入は非常に難しいとの意見表明。

Recycle
リサイクル

- リサイクル率・回収率・カレット利用率等の維持・向上
- つぶしやすい容器包装の開発
- 洗浄・分別排出への啓発
- 減容化機器の調査・開発
- リサイクルしづらいラベルの廃止、及び剥がしやすいラベルの工夫
- 複合材の見直し
- 自主回収の研究・拡大

2010年目標に向け、着実にリサイクルを推進中

リサイクル率・回収率・カレット利用率等の維持・向上(数値目標)

素材	指標	2003年度	2004年度	2005年度
2004年度より 4.9 ポイント				
ガラスびん	カレット利用率 (リサイクル率)	91%以上 (70)	94.5%	95.6%
2004年度より 6.9 ポイント				
PETボトル	回収率	75%以上	66.3%	69.2%
2004年度より 2.4 ポイント				
紙製容器包装	回収率	20%以上	15.2%	15.4%
2004年度より 16.5 ポイント				
プラスチック製容器包装	収集率	75%以上	54.0%	58.1%

リサイクル率・回収率・カレット利用率等の維持・向上 (数値目標)

素材	指標	2010年 目標	2004年度	2005年度	2006年度
			2004年度より2.0ポイント		
スチール缶	リサイクル率	85%	87.6%	88.2%	89.8%
			2004年度より6.6ポイント		
アルミ缶	リサイクル率	90%以上 (85%)	91.8%	92.4%	93.2%
			2004年度より6.8ポイント		
飲料用 紙パック	回収率	50%以上	56.9%	57.5%	58.4%
			2004年度より6.9ポイント		
段ボール	回収率	90%以上	93.3%	98.1%	95.5%

回収率・リサイクル率は目標に向け着実に向上

『リサイクル』 リサイクル性の向上

つぶしやすい容器包装の開発

- **段ボール**: 段ボール業界としてたたみ易い段ボールの具体例を調査し、ホームページ掲載に向けたデータ整理を行った。
- **紙製容器包装**: 紙箱にミシン目を入れて廃棄時に折りたたみ易くする工夫や、単一素材に分離容易な複合容器の開発などが取り組まれた。

減容化可能容器、洗い易い形状の研究・開発等

- **プラスチック製容器包装**: つぶし易さ、汚れの付着しにくさ、洗い易さ等の改善事例を収集し、その結果を3R推進事例集として取りまとめ、関係部署に紹介。
- **プラスチック製容器包装**: 新たにユニバーサルデザインを考慮した減容化容器の開発・検討を継続中。

リサイクル リサイクル性の向上 / 普及啓発

リサイクルしづらいラベルの廃止、剥がしやすいラベルの工夫

- **ガラスびん**: アルミ箔ラベルを使用しない等ガラスびんの3R推進のための自主設計ガイドラインを設定し、びんメーカー、主要ボトラー団体に協力要請を行った。

その他

- **PETボトル**: PETボトルの自主設計ガイドライン遵守を目的に着色ボトル等の調査を行い、問題のあった企業にはその遵守を要請し、是正を図った。

洗浄・分別排出等への普及啓発

- 各団体にて鋭意推進。報告書P10に詳細を記載。

『リサイクル』 自主回収／識別表示等の推進

自主回収の研究・拡大

- **紙製容器包装**:小売酒販店で酒パックを回収するエコ酒屋の取組みが進められており、「酒パックリサイクル促進協議会」やNPOの活動を支援。
- **スチール缶**:2005年度より、集団回収の調査の上、研究会開催及び調査結果公表並びに支援事業を継続的に実施。
- **アルミ缶**:自治体ルート以外の回収割合向上を目指して、全国800の回収拠点にアンケート調査を実施。
- **飲料用紙容器**:紙パック回収ボックスを学校、自治体、市民団体、作業所、企業およびスーパー等へ1,980個(過去累計で12,545個)配付。

その他識別表示等の推進

- 容器包装への識別表示の実施率の向上
- 自主設計ガイドラインの策定・運用による環境配慮設計の推進

主体間の連携に資する取組み

関係八団体共同の
取組み

- 容器包装廃棄物の3R推進普及啓発のため、
- フォーラムの開催
 - セミナーの開催
 - 各団体ホームページのリンク化・共通ページの作成等による、
情報提供の拡充

**2006年度より3R推進団体連絡会
にて取組みを開始**

主体間の連携に資する取り組み実績概要 『八団体共同の取り組み』

2007年度取組み

■ フォーラム

- ・ 『容器包装3R推進フォーラムin神戸』 (9/19～20 神戸市)

■ セミナー

- ・ 『みんなが主役！ 共に行動するための3Rセミナー』 (10/19 北九州市)
- ・ 『みんなが主役！ 共に行動するための3Rセミナー』 (2008年2/18 川崎市)

■ 3Rリーダー交流会

- ・ 4回の交流会を実施 (7/31・9/7・11/30・2008年1/17)

■ 展示会への共同出展

- ・ 3R活動推進フォーラム全国大会 (10/17～19 北九州市)
- ・ エコプロダクツ2007 (12/13～15 東京ビックサイト)